学校番号	T0204

令和３年度　公民科

教科	公民	科目	政治・経済	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	最新政治・経済　新訂版　（実教出版）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・政治や経済などに関する基本的な理解をふまえ、持続可能な社会の形成が求められる現代の諸課題について、望ましい解決の在り方を考察しよう。
・統計や地図などの資料を収集、選択するなど、情報を主体的に活用しよう。

2　学習の到達目標

・政治、経済に係る諸問題に関心を持ち、政治・経済の基本的事項について理解する。
・現代の民主社会の構成員として、民主政治へ参加する有権者としての自覚と教養を身につける。
・必要に応じて情報を適切に選択し、効果的に活用する技能を養う。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	現代の政治経済、国際関係についての関心を高め、意欲的に課題を追求するとともに、国家・社会の一員として平和で民主的な社会の実現と推進について客観的に考察しようとしている。	現代の政治経済、国際関係に関わる事柄から課題を見いだし、その本質や特質、望ましい解決のあり方について広い視野にたって、多面的・多角的に考察し、公正に判断して、その過程や結果を様々な方法で適切に表現している。	現代の政治経済、国際関係に関する諸資料を収集し、学習に役立つ情報を適切に選択して、効果的に活用している。	現代の政治経済、国際関係の基本的な事柄や、本質、特質及び動向を捉える基本的な概念や理論を理解し、その知識を身につけている。
評価方法	・定期考査 ・ワークシート	・定期考査 ・ワークシート	・定期考査 ・ワークシート	・定期考査 ・ワークシート

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期	現代の政治	・民主政治と法 ・日本国憲法の基本原理 ・基本的人権と公共の福祉 ・政治機構と国会 ・内閣と行政機能の拡大 ・公正な裁判の保障 ・選挙と政治参加	 ○ ○	 ○ 	○ ○ 	 ○ ○ 	a，現代の政治への関心を高め、意欲的に課題を追求し、望ましい政治の在り方や主権者としての政治参加の在り方について客観的に考察しようとしている。 b，現代の政治から課題を見いだし、多面的・多角的に考察し、公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。 c，現代の政治に関連する諸資料を収集し、情報を適切に選択して活用している。 d，民主政治の基本的原理や民主政治の本質と特質を捉える基本的な概念や理論を理解し、その知識を身につけている。	定期考査 ワークシート
	平和主義と国際平和	・国際連合と国際協力 ・勢力均衡と集団安全保障 ・軍拡競争から軍縮へ ・平和主義と自衛隊 ・集団的自衛権	 ○ ○ 	 ○	 ○ 	○ 	a，現代の国際政治や国際平和への関心を高め、集団安全保障を含めた国際社会における日本の役割について客観的に考察しようとしている。 b，国際政治の特質や国際紛争の諸要因について多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c，現代の国際政治・国際平和に関連する諸資料を収集し、情報を適切に選択して、活用している。 d，我が国の安全保障と防衛及び国際貢献などの国際政治の特質や国際紛争の諸要因を捉える基本的な概念や理論を理解し、その知識を身につけている。	定期考査 ワークシート

後期	現代の経済	・経済主体と市場の働き ・企業の役割 ・国民所得 ・金融の役割 ・財政の役割と租税 ・消費者問題 ・労働問題と労働者の権利 ・社会保障の役割	 ○ ○ 	 ○ ○	 ○ ○ 	○ ○ 	a，現代の経済に対する関心を高め、現代経済の特質を意欲的に追及し、経済活動の在り方と福祉の向上との関連について客観的に考察しようとしている。 b，現代の経済から課題を見いだし、現代経済の特質を多面的・多角的に考察し、公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。 c，現代の経済に関連する諸資料を収集し、情報を適切に選択して活用している。 d，現代経済に関わる経済の基本的な概念や理論を理解し、その知識を身につけている。	定期考査 ワークシート
	現代の国際経済	・貿易と国際収支 ・外国為替市場のしくみ ・戦後の国際経済 ・国際経済の動向	 ○ 	○ 	 ○ 	 ○	a，国際経済に対する関心を高め、国際経済の特質を意欲的に追及し、国際経済における日本の役割について客観的に考察しようとしている。 b，国際経済から課題を見いだし、国際経済の特質を多面的・多角的に考察し、公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。 c，国際経済に関連する諸資料を収集し、情報を適切に選択して活用している。 d，為替相場や国際収支の仕組み、国際協調の必要性や国際経済機関の役割に関する基本的な概念や理論を理解し、その知識を身につけている。	定期考査 ワークシート

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。